

# がん医療のこれから

チームであなたを支えます

「チーム医療」という言葉を知っていますか？昔からの医師を中心としたピラミッド型の医療ではなく、医師、看護師、薬剤師などの多職種が協同し、チームとなって提供する医療のことです。それぞれの専門家がさまざまな方面から患者さんをサポートするため、患者さんにより良い医療を提供することができず。

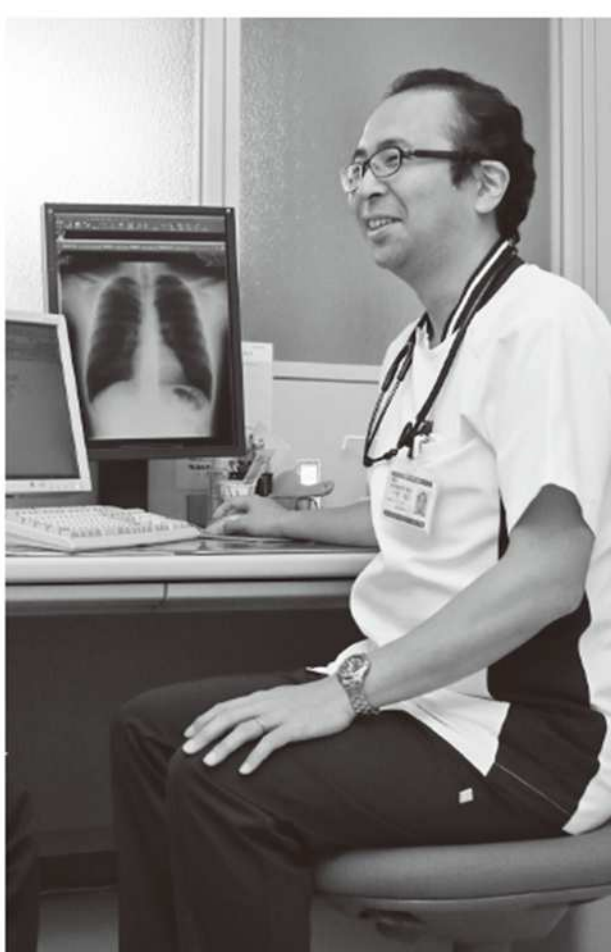
市立病院では、平成20年に外来化学療法室が開設されたことをきっかけに、特に長期間の抗がん剤治療が必要となるがん患者さんへの

道内初のがん対策推進条例を平成27年に施行し、まち全体でがん対策に取り組む室蘭。がん医療についてのコラムを、不定期で連載します。

現在の医師、看護師、薬剤師、医療ソーシャルワーカー、栄養士が中心メンバーとなり、患者さんごとにカンファレンスという会議を行い、患者さんの状態や生活習慣に寄り添った、より良い治療・ケア・支援の提供を目指し、日々の診療を行っています。

## チームで患者を支える

チーム医療を、本格的に導入しました。



消化器内科 医師

## 一色 裕之さん

函館市出身。34歳。札幌医科大学を卒業後、大学附属病院などを経て、市立室蘭総合病院は2回目の勤務。日本内科学会認定内科医、日本消化器病学会専門医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医。